

## 入居企業紹介 その87

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 317

F M C 株式会社

### 「公正」の理念の下で



#### 【代表プロフィール】

FMC株式会社 (Facility Management Company Inc.)  
代表取締役会長 大沢幸雄 (工学博士・技術士・一級建築士)  
代表取締役社長 露木博視 (一級建築士・認定ファシリティマネジャー・CASBEE建築評価員)  
代表取締役副社長 天野俊裕 (税理士・ファイナンシャルプランナー)  
※今回は、副社長の天野さんにお話をお聞きました。

天野さんは、生まれも育ちも旧城山町(現相模原市緑区)の38歳。相模原市在住。  
旧津久井郡にある道志川沿いの“このまさわキャンプ場”などをよく利用するアウトドア派です。

#### 【起業しようと思ったきっかけは?】

天野さんの実家の稼業は水道屋さん。子供の頃から家に来る税理士さんを見てきました。大学では経済学を専攻し資格としての簿記を取得。簿記は天野さんととても相性が良く、税理士の道へ進みました。

現在も相模原市内で税理士事務所を構える天野さんですが、5年程前、大沢会長が日本建築学会で発表した「建築物ライフサイクルにおける償却資産管理手法の構築」などの論文に出会う。

税理士としての自分の視点と違うのは何故か。建築士からの視点と税理士からの視点を融合させる必要性を感じたのはこの時です。

#### 【事業紹介】

建築士・公認会計士・税理士等の専門家によって構成され、建物や建物附属設備に関する詳細で緻密な税務会計管理を通じたコンサルティング業務を行っています。特に力を入れているものを下記にご紹介します。

#### 1.償却資産管理システム(除却法)の導入

既存の建物や設備などの固定資産の一部について、新設、増設、補強、取替え、現状回復、交換、整備、修繕などを行われた際にその作業の為に取り壊された旧資産の一部についての帳簿価額(未償却残高)を固定資産勘定から「引き算」(一部除却)して、除却損を計上させるための一連の会計手続きです。

従来の方法: 資修区分法

【旧資産の簿価+価値等の増加差額=新資産の簿価】

家1棟+新しいトイレ=新簿価

除却法:

【旧資産の簿価-除却対象資産の簿価+獲得した資産の簿価  
= 新資産の簿価】

家1棟-古いトイレ+新しいトイレ=新簿価

#### 2.コンポーネント・アカウンティング(IFRS※1:国際財務報告基準)への対応

ある資産の内の重要な構成要素を占める部分で、かつ、耐用年数や償却方法が全体とは異なるべきである部分については、それぞれ別途に減価償却等の計算を実施する考え方です。

例えば、飛行機一機ではなく、機体部分とエンジンの部分を分けて減価償却を行う方が適切であるなど。

#### 3.震災時の対策(BCP※2の策定、リスクファイナンスおよび震災積立金の推進)の実施

昨年11月、東日本大震災から2か月で企画・執筆・発刊した「建築士・会計士・税理士の災害FAQ※3」は、災害発生時の事業・建物の復旧、会計処理などの手続・対策が的確に纏まっていることや災害発生直後のタイムリーさが評価されて、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会功労賞を受賞しています。

FMCでは同書の印税はすべて日本赤十字社を通じて義援金に、また、東北3県及び市町村133団体に無償寄贈しています。

建築と会計の専門家による事業は、不動産に関連する顧客に「公正」な会計方法を提案すると共に、財務の視点から強くBCPの策定実施を推進しています。

#### 【これからの夢または目標は?】

今は、とにかく経営者の方に除却法やコンポーネント・アカウンティングの考え方を知ってもらい、広く浸透させて行きたい。

IT技術の進歩によって建築学と会計学とが融合できたことで見えなかったものが見えるようになった。これから先も、今見えていない事が見えてくるに違いない。真なるものの公正さを常に見定めて行ける事。

F M C 株式会社

SIC-1 317

Tel: 042 (770) 9497 URL: <http://fmcinc.jp/>

※1 International Financial Reporting Standards

『全世界共通の会計ルールの設定』を目的に創設された国際会計基準審議会(IASB)が設定する会計基準です。

※2 Business Continuity Planの略語: 「事業継続計画」

※3 Frequently Asked Questionsの略語: 「頻繁に尋ねられる質問」



## 入居企業の皆様へご案内

3月の販売予定日 in SIC-1・2

### かわせみの家

<http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>



なくなり次第終了です。 8日(木)

手作りクッキーや手作りケーキを販売します  
営業時間 11:30 ~ 13:00

かわせみの家では、毎週火曜日と金曜日にお弁当の配達をしています。(450円。大盛り500円)

ご注文は、当日の朝10時まで受付しております。

TEL: 042-783-1333

### カリメーラ

<http://e-sagami.jp/karime-ra>



なくなり次第終了です。

2日(金)  
9日(金)  
16日(金)  
23日(金)  
30日(金)

NATURAL STYLE BAKERY

自家製天然酵母パンを販売します  
営業時間 11:45 ~ 13:00

## ご案内

### 第6回 The HINT

#### 見ミニセミナー&経営総合相談会開催について

平成24年3月13日(火)に新分野進出へのヒントとなる、第6回 The HINT 見ミニセミナー&経営総合相談会を開催いたします。

企業や商品のプランディングを始めるときに必要なロゴ。これを疎かにしてしまうとどんなに素晴らしい理念や品質があっても失敗に終わってしまう可能性を格段に高めます。

そこでデザインの出番です。経営や商品開発にデザインを活用することで良いモノだということを正しく伝達し、確実に機会をモノにしましょう!

本セミナーでは、参加者全員に「まるわかり!自分でできる自社ロゴ診断シート」を進呈し、良いロゴを生み出すための基本を解説します。

セミナー終了後の14時30分からは、経営総合相談会を行います。セミナーの内容以外でも相談可能です。4人のSICアドバイザーがお待ちしております。ぜひお越しください。

- 開催日時:平成24年3月13日(火) 13時30分~17時
- ◆対象者:相模原市内外の企業、及び創業を検討している方
- 定員:20社程度(先着順)
- ◆会場:(株)さがみはら産業創造センター内(大会議室)
- 講師:小崎直利氏(こざ企画代表 グラフィックデザイナー)
- ◆費用:無料
- お申込み:HPもしくは電話にて3月9日(金)までにお申込みください。  
URL:www.sic-sagamihara.jp
- ◆お問合せ:(株)さがみはら産業創造センター(担当:飯山)  
TEL042-770-9119 Fax042-770-9077

## 2012年3月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理:2月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成  
税務:役員等所得税確定申告、事業年度内届



「かわせみの家」さん出店日



「カリメーラ」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	1 会議室5月分 予約受付開始	2 	3 *SIC-2 エレベーター点検
4	5 *SIC-1 エレベーター点検	6	7 SIC-1 消防設備点検 SIC-3 消防設備点検	8 	9 	10 SIC-1 床面定期清掃 経営塾10周年 記念式典
11	12	13 SIC-1 フィルター清掃 第6回 The HINT 見ミニセミナー	14 SIC-2 自動ドア点検 SIC-2 空気環境測定	15	16 	17
18	19	20 春分の日	21	22 入居者交流会	23 	24
25	26 SIC-2 消防設備点検	27 SIC-2 フィルター清掃	28	29	30 	31

\*エレベーター点検 9:30~11:00の間はご利用になれません。

お問い合わせは 生井(内線1116)まで  
SICのWEBサイトでもご覧頂けます。



## 主流市場の秩序を乱す「破壊的イノベーション」

ビジネスの在り方が急速に変わりつつある。外部環境の変化、私たちの価値観が変わるに従い、旧来のビジネスが通用しなくなっている。競争相手が、どこからか突然、あるいは静かに悟られないようにやってくる。旧来のビジネスに代わって新しいビジネスモデルが世の中に登場している。この先ビジネスを創造したいなら、イノベーションが、不可欠である。

イノベーションを考えると、押さえておきたいことが幾つかある。

クレイトン・クリステンセンは、「イノベーションのジレンマ」で、このように述べている。イノベーションには、持続的イノベーションと破壊的イノベーション、大きく2つの種類がある。「従来は何か新しいものを創造することがイノベーションと考えられていたのに対し、新しいものの創造には異なるプロセスがあることを明らかにした。」

持続的イノベーションとは、「性能の向上を伴い、常に上位市場を満足させる技術開発」「一般的にある技術が市場で生き残っていくには、右肩上がりの軌跡を描く性能向上を図らなければならない。」「そして、常に性能の向上を伴う技術は、より高機能を求める上位市場のニーズを満足」させる。「我々が一般的に見る製品の高度化は、この持続的イノベーションの結果」である。

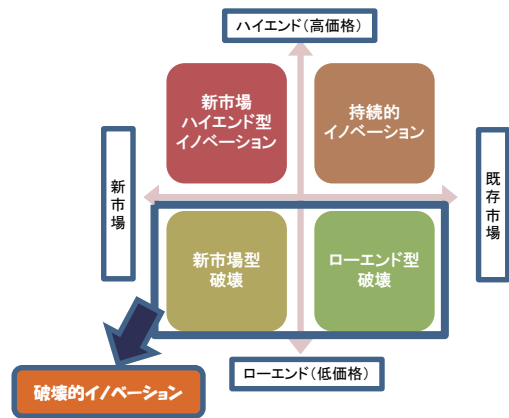
一方、破壊的イノベーションは、「必ずしも性能の向上を伴わず、しかも価格が安くなる技術が主体」になる。よって「高機能をもとめる上位市場を満足させないイノベーション」「破壊的技術は、既存市場の主流ではなく、低機能で価格の安い技術を求める市場」に受け入れられる。「また、新たなニーズが生じた際に、それを解消する手段がない場合、性能が低くても価格が合理的な技術ならば、市場に受け入れられる余地がある」「破壊的技術が、いったんこのような市場に根付くと、技術開発が急速に進む。そして場合によっては、やがて主流市場でも通用する性能向上が図られ、しかも低価格であることから、破壊的技術が主流市場を侵食」する。

更に、クリステンセンは、破壊的イノベーションをローエンド型破壊と新市場型破壊の2つに分類した。ローエン

ド型破壊は、主流市場の下位市場に破壊的技術が根付いて始まるイノベーション。新市場型破壊は、主流市場とは異なる価値基準の新市場に根付いて始まるイノベーションである。新市場型は、既存市場から見ると、従来とは異なる価値基準の上に成立するが、この価値基準を満たす技術は存在しない。そのため、ここに導入される技術が性能的に未熟だとしても、価格が合理的なら解決策はほかにないため、利用者はそれに飛びつく。そして、性能が未熟な技術がいったん市場に根付くと、急激な技術開発が始まる。こうして、性能が高まり、やがて主流市場から利用者を取り込むパワーを持つ。このようなプロセスを経るのが、新市場型の破壊的イノベーションである。

イノベーションに関して概略をご理解いただけましたでしょうか

現在の激変している外部環境と内部環境を理解し、経営戦略を決定するために、破壊的イノベーションの分類の中で、自社のビジネスモデルや製品サービスを考えてみるのも良いかもしれません。



### 参考文献

- 「イノベーションのジレンマ」クレイトン・クリステンセン著 翔泳社 2001
- 「イノベーションの解」クレイトン・クリステンセン、マイケル・レイ著 翔泳社 2003
- 「破壊的イノベーションのイノベーションがわかる本」中野明著 秀和システム 2008

## 私の好きな漢字

### 【株式会社青電舎 グジャヌ アリストファンさん】

このコラムでは、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介してまいります。

今月号ではSIC-2 404号室に入居されている、東京大学発ベンチャー株式会社青電舎のアリストさんにインタビューしました。

(株)青電舎は、静電アクチュエータの研究開発から生まれた静電エンコーダの商品化を目的に、2008年に東京大学で設立されました。静電技術をベースに様々な分野の課題に挑み、現在は静電エンコーダやタッチパネル用クリック発生装置等の技術を提供しています。

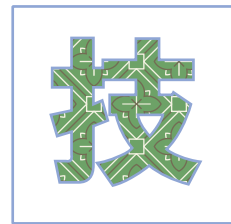
アリストさんの任務は、発明をどうやって商品までもっていくのか、電気的なソリューションを提供することです。電気システムの構造から製造までに必要な回路・プログラムの設計・製作を行っています。「青電舎は、未だ世の中にない製品の大発明を常に狙っています。」と説明して下さいました。

好きな漢字は『技』。

理由は、日本人の美質の一つであるからとのこと。

「おそらく、私から見て日本人を一言で言えば“技”だと思います。どんな分野でも、どんな些細な作業でも、日本人には心を込め、“美”を追及する傾向があります。私は、その日本人の特長を身につけたいといつも思っています。」

柔らかな物腰で、応対してくださったアリストさん。アリストさんの日本人観を聞き、背筋の伸びる気持ちがありました。



コートジボワール共和国 (西アフリカ)のご出身です。



フットサルやサイクリングがご趣味のアリストさん。天気の良い日に河川敷を走るのが一番好きだそうです。

# 証言で綴る SIC の歴史

有限会社創夢設計  
取締役 長崎 克央

— 第1回（2回連続でご紹介します） —

SIC-1~3の建物を設計・監理させていただいた立場より、この施設の誕生の頃のエピソードなどをご紹介します。

## ■プロポーザルに際して考えたこと<新たな次元へ>

20世紀最後の年の3月に、SIC-1の設計者選定プロポーザルに応募する機会を得ました。事の始まりは十数枚のFAXによる資料の配布で、その約1ヶ月後にA2版2枚の提案書を提出することとなりました。資料の計画説明書には、施設の基本コンセプトとして「ローコスト」「多様なバリエーション」「デザイン性」「交流・親しみやすさ」「スケルトン方式」がシンプルな説明と共に謳われており、その理解と穿鑿が第一段階です。

それらを読んでいて強く感じたことは、一般的な「公共施設」とは異なる事と、「何かの模倣」ではない『新たな施設づくり』を求めているという発注者の意識の高さと新しさでした。それに呼応するべく、新たな次元へ挑戦する意気込みで、プロポーザルに臨みました。

検討期間中の前半に、可能な範囲でBI施設を見て回った所、参考としてよりむしろ反面教師として気になる事が多く、『SICは別の道を歩むのだ！』という認識が次第に高まっていった事を覚えています。

## ■プロポーザル：提案書の内容<創造・共有>

要綱では、提言書の様式がほぼ定まっており、各ページに以下の課題への提案が求められていました。

1P-a トータルコストの縮減化の方策

- b スモールオフィスのフレキシビリティ
- c 周辺と調和した施設デザイン
- d 交流と親しみやすさに配慮

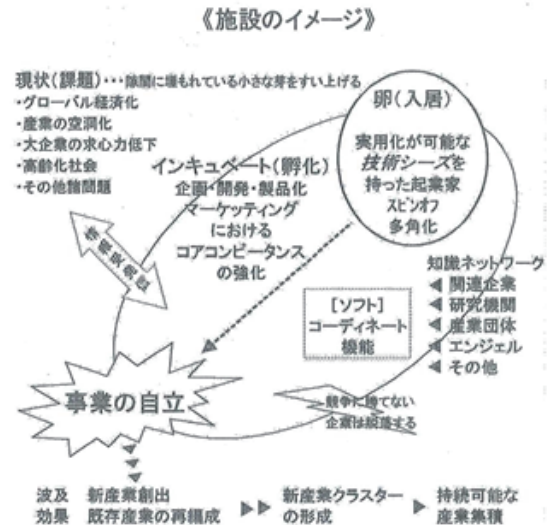
2P エスキス図：配置図・平面図・断面図・透視図

これに単純に沿うだけでは魅力と競争力を表しにくいと考え、以下のQ&Aを出しました。

Q：2Pに説明文および概念図を書き入れても良いか  
A：可

この回答を受け、提案の骨格が定まりました。即ち、『説明文と概念図で勝負しよう！』です。

そこで、説明文に<エスキスのコンセプト>として「条件の変化に合わせ、常に（箱も中味も）進化・成長していく柔軟なシステムが必要」と記し、与条件への解釈を述べた上で、以下の<概念図>を提示しました。



さらに提案の基本理念として「『過保護な孵化器』を目指すのではなく、企業の生死を分ける『戦いの道場』であり、厳しさと優しさを併せ持つ」を据えました。

このイメージは、与えられた資料や、時代の流れを理解していれば捻り出せる言葉が多いものの、いくつかの「殺し文句」を注意深く潜ませ、図として「可視化」させ、多くの人が直感的にコンセプトを共有し易くさせた所がミソ（のつもり）です。

もちろん、この大上段に構えたコンセプトに見劣りしない課題への提案とエスキス図をまとめ上げ、4月下旬に提出しました。

(実は、これに落ちたら会社をたたむ覚悟でした)

(つづく)

## 山本のめし屋レポート

## やきとり・から揚げ「鳥久(とりきゅう)」

上溝で飲むならこの店ですね。

長年この地に店を構えるやきとりと鳥のから揚げの専門店

「鳥久(とりきゅう)」。

久々に職場の仲間3人と行ってきました。

小ぶりのやきとり80本、ももから揚げと手羽から揚げをそれぞれ一皿。

どれも旨い。特にやきとりはいくらでも食べれそう。

このお店のメニューはいたってシンプル。

やきとり、から揚げ、お漬物、のり茶漬け以上です。

相模線上溝駅から約5分。

友達や職場の仲間と楽しくやるのにつけてです。



■所在地 〒252-0243 相模原市中央区上溝7-10-9 ■TEL 042-762-0218 ■営業時間 17:00-21:00 ■定休日 日曜・祝日

## 編集後記

3月は「弥生」。草木が弥よ弥よ芽生えるという意味だそうです。SICでも梅の木にたくさんの花が咲いていて、春の訪れを感じます。食卓にも、菜の花やタケノコ、フキ、ウリイなど、春の食材の登場が増えてきました。旬のものを食べ、元気に春を迎えたいですね。

三露

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: http://www.sic-sagamihara.jp E-mail: koho@sic-sagamihara.jp